

第2回 藤沢駅前街区エリアデザイン会議

日時：2022年（令和4年）10月27日（木）

午後4時から

場所：藤沢市役所分庁舎6階 6-3会議室

次 第

1 開 会

2 エリアデザインコンセプトの検討

3 閉 会

(配布資料)

・第2回藤沢駅前街区エリアデザイン会議資料

第2回藤沢駅前街区エリアデザイン会議 資料

(目次)

- I 検討のための整理
- II 市施策等の整理
- III 湘南・藤沢らしさの整理
- IV エリアデザインコンセプト(たたき台)





I 検討のための整理

- 01 エリアデザインコンセプトの目的
- 02 スケジュール
- 03 第1回藤沢駅前街区エリアデザイン会議意見要旨



01 エリアデザインコンセプトの目的

- ▶ 藤沢駅前街区では、北口デッキや東西地下通路等の都市基盤を更新している。今後も南北自由通路や南口駅前広場の更新を計画している中、**「湘南・藤沢らしい」デザインコンセプトをもつことで、「湘南・藤沢ブランド」をより発信できる駅前空間としていきたい。**
- ▶ エリアデザインコンセプトは、**①コンセプト、②デザインの方向性、③デザインの展開イメージ**を位置付けることで、都市基盤だけでなく民間施設を含め、統一的な方向性をもったまちづくりを進めていきたい。



(北口デッキ)



(東西地下通路(北口地下広場))

02 スケジュール

年度	月	スケジュール	会議	議題	
(令和4年度)	6				
	7	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">エリアデザインコンセプトの検討</div> <div style="margin-left: 20px;">●</div> </div>	第1回会議	・エリアデザイン検討の基本的な考え方 ・コンセプト(イメージ)の提示	
	8				
	9				
	10		●	第2回会議	【本日】エリアデザインコンセプト(たたき台)の提示
	11				
	12				
1			●	第3回会議	・エリアデザインコンセプト(素案)の提示 ・南北自由通路のデザイン(イメージ)の提示
(令和5年度)	2				
	3				
	4				
	5		●	第4回会議	・エリアデザインコンセプトの(案)の提示 ・南北自由通路のデザイン(たたき台)の提示
	6				
	7				
	8	決定	●	第5回会議	・エリアデザインコンセプトの決定 ・南北自由通路のデザイン(素案)の提示
9					
10					
11			●	第6回会議	・南北自由通路のデザイン(案)の提示
12					
1					
2		決定	●	第7回会議	・南北自由通路のデザインの決定
3					

反映 →

南北自由通路のデザイン検討

決定 →

南北自由通路の詳細設計へデザインを反映

03 第1回藤沢駅前街区エリアデザイン会議意見要旨

委員からの意見

(1)デザインコンセプトの考え方

- デザインコンセプトに何を位置づける必要があるのか、議論する必要がある。
- 空間・カラー・サインのような具体的なコンセプトを示すより、より応用が利くデザインの考え方を示すことの方がよい。
- 駅前のある方として、これまでは機能的価値を追求されてきた。今後は情緒的な価値や色をつくりたい。
- 人の動きも今回のデザインに関わってくる。今は断片的でわかりづらいため、駅前広場の外側一皮を含め、人がどう動き、どこで滞留するのか、全体を見渡す必要があり、データを示してほしい。

(2)上位計画等との位置付け

- 市として、この場所の位置付け・湘南の玄関口としての位置付けを示してほしい。
- 上位計画や駅周辺の空間構成等を整理し、この場所のありようが構造として見えるとよい。
- デザインの基となる市の方針(木材利用促進等)や藤沢らしさの基となった議論を示し、更に情緒的なキーワードを取り出してもらいたい。
- 4つの公共空間(北口デッキ・東西地下通路・南北自由通路・南口広場)を包括する親コンセプトであるため、逆方向でも成立するよう、現状のコンセプトとの整合性も必要。

(3)デザインコンセプトの表現

- ある程度充実した現況から一步踏み出し、シビックプライドを見つけ、未来に発展していく表現だとよい。
- 主体は誰かを考えるべき。「ただいま」は住んでいる人の目線。訪れる人を主体とすると表現も変わってくる。
- 「ただいま」「おかえり」など、小学生にも分かりやすい表現もよい。
- 「つながり、広がり、交わり」のような駅前街区の特性をシンプルな言葉で表現できるとよい。
- 目的地が分かりやすく、拡がりが見え体現できる表現だとよい。
- 3社の鉄道が集まる駅としては、発信性が感じられる前向きな表現であってほしい。

委員意見を踏まえた整理事項

- デザインコンセプトの目的を明確にする。
- デザインコンセプトとして示すべき事項を整理する。
- 藤沢駅前広場の利用者動向等を整理する。

- 市の方針(上位計画等)を整理する。
- 整備が完了した事業のコンセプトを整理する。

- コンセプトの方向性が議論しやすいよう、異なる視点でデザインコンセプト(たたき台)を作成する。
- コンセプトのイメージが共有できるよう、イメージ写真を付加する。

03 第1回藤沢駅前街区エリアデザイン会議意見要旨

委員からの意見

(4)藤沢駅前街区のイメージ

- 藤沢市の自然もありながら、都心でもある特徴を活かしていきたい。
- 駅の南口に降り立った時、開放感や海に向かって開けた感じが足りていない。
- 藤沢駅周辺で江の島への玄関口として海や自然はあまり感じられない。
- かつて街道沿いの宿場町であった駅前という場所を丁寧に読み解くことが大切かもしれない。一息ついた後、気持ちを新たにどこかに出かけていく場所という位置づけもある。
- 北口と南口の利用シーンは異なり、南口はJRや小田急から江ノ電に乗り換えるイメージで来街者を多く感じる一方、北口は住民利用が多く、そのような部分も意識する必要がある。

(5)南北自由通路のデザインの考え方

- 既に完成している北口と新たに整備する南口をどのようにつなぐのかが大事。
- デザインと機能は切り離せない部分もある。改札口の視認性等にも注意。
- 藤沢駅については、広場性も加味した通路としてのつくり方も考えるとよい。
- 自由通路はエリマネによる広告展開の可能性も想定され、どこまで市民が使えるのか、どこまで鉄道事業者の機能として必要なのか、空間活用イメージも含めて要件を整理してほしい。
- 市民参加の条件、デザインについて意見が述べられる範囲も含め、条件整理をしてほしい。

委員意見を踏まえた整理事項

- 藤沢駅前街区のイメージ創出にあたって、市民が持つまちのイメージやこれまでに育まれてきた歴史や文化を整理する。
- 自由通路のデザインは、第3回藤沢駅前街区エリアデザイン会議(令和5年1月)から検討を開始する予定。

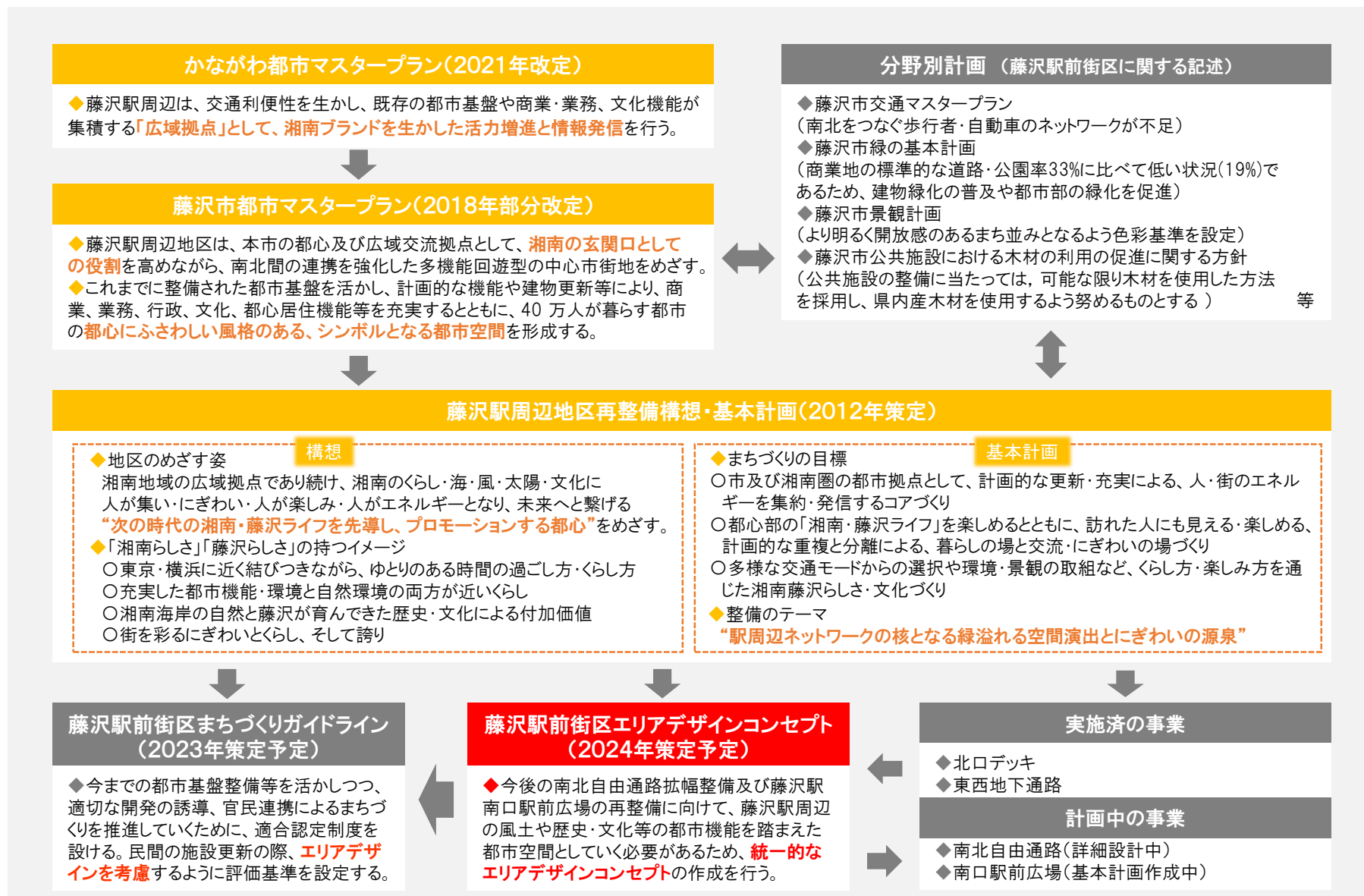


Ⅱ 市施策等の整理

- 01 都市構造上の位置付け
- 02 地区整備の方針
- 03 地区整備事業の進捗状況
- 04 実施済み事業のコンセプト



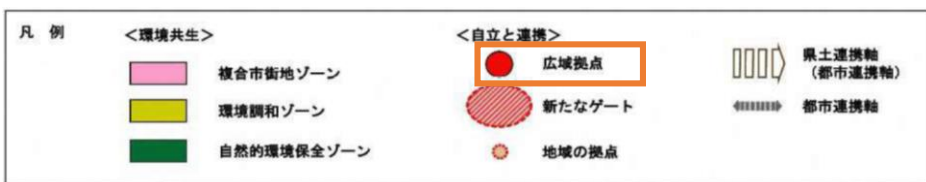
01 都市構造上の位置付け (1) エリアデザインと上位計画との関係性



01 都市構造上の位置付け (2)都市マスタープラン(県・市)における「本地区の役割」

かながわ都市マスタープラン

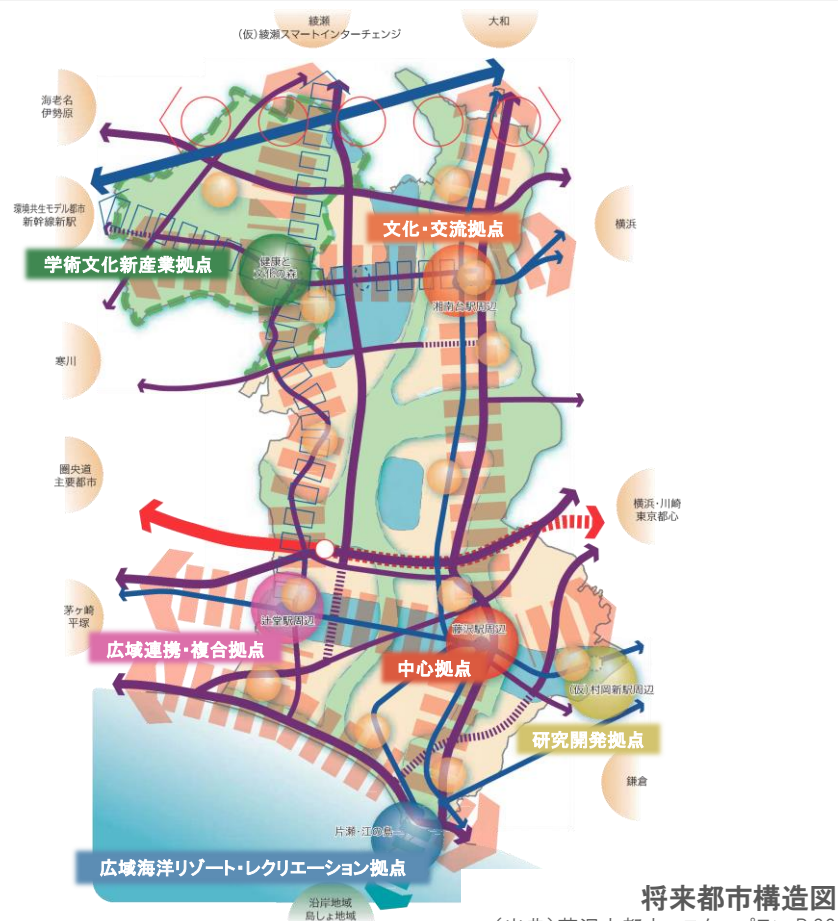
- ◆藤沢市は、「湘南都市圏域」に位置づけられており、湘南都市圏域では、湘南海岸のなぎさや丹沢大山のやまなみなどの特色を生かして、より強い地域ブランドを構築し、これらを積極的に活用しながら、都市圏域内外の交流連携を活発化させるとともに、より付加価値の高い都市づくりを進める。
- ◆藤沢駅周辺は、**交通利便性を生かし、既存の都市基盤や商業・業務、文化機能が集積する「広域拠点」として、湘南ブランドを生かした活力増進と情報発信を行う。**



湘南都市圏域の都市づくりの方向性
(出典)かながわ都市マスタープラン P.68

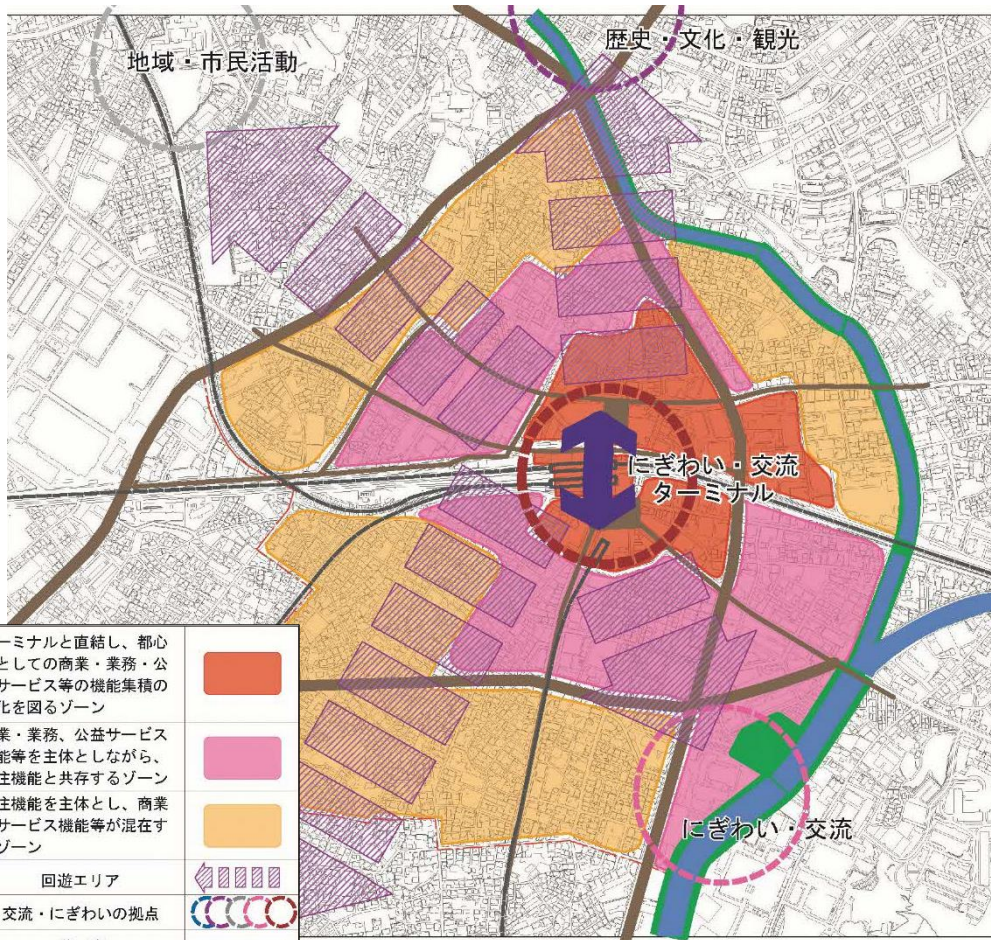
藤沢市都市マスタープラン

- ◆藤沢駅周辺は、市内6都市拠点の中の「中心拠点」に位置づけられ、南北軸の連携を強化した、多機能回遊型の中心市街地をめざす。
- ◆本市の都心及び広域交流拠点として、湘南の玄関口としての役割を高めながら、これまでに整備された都市基盤を活かし、計画的な機能や建物更新等により、40万人がくらす都市の都心にふさわしい風格のある、シンボルとなる都市空間を形成する。



将来都市構造図
(出典)藤沢市都市マスタープラン P.39

01 都市構造上の位置付け (3) 藤沢駅周辺地区再整備構想(2012)における「地区のめざす姿」



将来都市構造イメージ

(出典)藤沢駅周辺地区再整備構想・基本計画 P.23

◆地区のめざす姿◆

湘南地域の広域拠点であり続け、湘南の暮らし・海・風・太陽・文化に人が集い・にぎわい・人が楽しみ・人がエネルギーとなり、未来へと繋げる

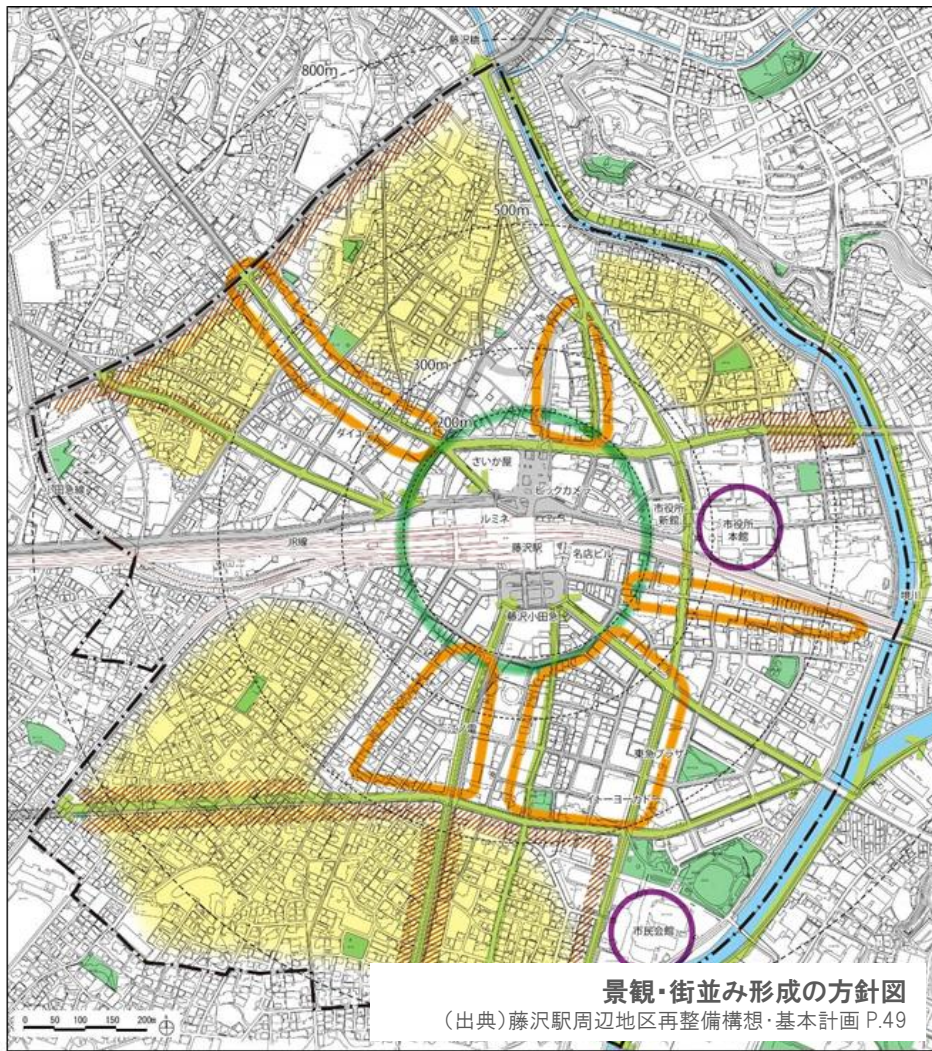
“次の時代の湘南・藤沢ライフを先導し、プロモーションする都心”

◆地区整備の方向性◆

- 藤沢の都心部機能集積の維持・充実
- 湘南・藤沢らしさをを持った商業・サービス・交流の充実・創出
- 永年にわたり積み上げてきたストックを活かし、街を面的に楽しむ仕掛けづくり
- にぎわい・交流の核の形成
- 湘南・藤沢らしい空間・景観の形成
- 安心・快適と低炭素型交通環境の創出にむけた交通ネットワークの形成
- 次の時代を先導する環境や安心・安全への取組

(出典)藤沢駅周辺地区再整備構想・基本計画 P.19,21

02 地区整備の方針 ~藤沢駅周辺地区再整備基本計画(2012)における「分野別地区整備の方針」~



凡例

- | | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 湘南・藤沢の玄関口となる顔づくり ○ 公共施設における湘南藤沢らしい街並みを先導するような、地区のシンボルとなる景観づくり | <ul style="list-style-type: none"> ↔ 水・緑のネットワーク 〇 通りの特性を活かしたにぎわいのあるまちなみづくり | <ul style="list-style-type: none"> ゆとりある低層住宅地の維持・充実するとともに、維持にむけ取組を検討するゾーン 後背の低層建物とのバランスに配慮・調整した中高層建物による街並み形成 |
|---|---|---|

都市環境形成に関する整備方針（景観・街並み）

◆地区整備の方針◆

藤沢駅前における藤沢の顔・玄関づくり

- 湘南の玄関口、藤沢の顔・シンボルとして**太陽、海、空**といった**自然イメージと開放感のある駅前広場づくり**と**視覚的な緑量も配慮した緑に溢れた空間形成**の検討を進める。
- 駅街区内では、まとまった緑の創出や街路樹等の充実により、**緑のある藤沢の駅前づくりと潤いのある都市空間形成**の検討を進める。
- 市庁舎及び市民会館では、建替に際してシンボル性とともにより周辺景観との調和や街並み形成を先導する役割をめざした施設整備を推進する。
- 駅利用者等の回遊・交流の機会づくりにむけて、江の島・湘南海岸や富士山など、藤沢駅周辺地区から**眺望を楽しむためのビュースポットの計画的な配置**を検討する。

(出典)藤沢駅周辺地区再整備構想・基本計画 P.48

03 地区整備事業の進捗状況



(出典)「藤沢駅周辺地区再整備構想・基本計画」に基づく事業計画(案)



04 実施済み事業のコンセプト (1)北口デッキ・特殊街路

◆再整備コンセプト

① 再整備コンセプト(機能・整備方針)

◆再整備コンセプト

「湘南・藤沢 Garden Gate」

街の顔の北口デッキと個性ある通りが輝く《にぎわいの回遊拠点》

憩い・集い・出会いの場として、新たなにぎわい・交流・つながりを創出・発信する場として、様々な世代・季節・時間の楽しみ方を育む場として、藤沢駅北口駅前が生まれ変わる。

◆めざす空間構成

◆特殊街路

- ◆西側の街・商店街への玄関口及び回遊軸となる空間
- ◆新たな憩い・にぎわい空間
- ◆藤沢でくらす人々が日常的に楽しめる居心地の良い空間
- ◆沿店舗・商店街、市民等とが連携しつくりあげる空間

◆北口デッキ

- ◆様々な世代が憩い・集い・出会う、街のシンボル
- ◆日常から特別(非日常)の使い方・過ごし方ができる、多様性・フレキシブルさをもつ広場・庭

◆デザインコンセプト

(出典)第6回藤沢駅北口デッキにぎわいワーキング資料

② デザインの方向性

◆特殊街路

「都市の路地・ガーデン」

- まちの回遊性を高める個性的な路地
- ◆道路から広場・緑のガーデンへの空間シフト、ヒューマンスケールの路地空間、サードプレイス
 - ◆市民の活動・イベントに対応可能なオープンスペース
 - ◆市民主体のにぎわい創出に対応する仕掛けづくり

(デザインキーワード)

- ◆いつでもにぎわう・都市の路地
- ◆お洒落で何かノスタルジー
- ◆夜はロマンチックに・ずっといたい

◆北口デッキ

「暮らしを楽しむひろば・ガーデン」

- 日常の暮らしに高揚感を感じられる回遊拠点
- ◆緑のうるおい・季節感を感じられる屋上ガーデン
 - ◆歴史・文化、自然資源を背景とした明るくおらかな空間形成
 - ◆駅前の多様な景観を受けとめる時代に流されないスタンダードデザイン

- ◆これから市民利用や様々なイベント・催しを進展させていく中で、全部を作りこんでしまうデザインよりも、フレキシブルさ、余白が重要
- ◆「藤沢らしさ」をイメージできる、ゆとりのある、また温かみのあるデザイン

③ デザインのねらい

- ◆北口デッキを回遊の拠点とし、駅前のポテンシャルを活かした広場空間としての差別化や魅力向上により、憩い・集い・出会いなど人々の活動や交流の活性化を図る。
- ◆それぞれの空間に「藤沢らしさや遊び心を取り入れ、街のシンボル」として、市民のまちへの誇りと愛着を醸成させる。
- ◆空間の差別化・個性を創出しながら、「デザインに一貫性」を持たせ、市民・来街者に、憩い・交流・楽しみの場として使ってもらえるよう、それぞれの空間の心地よい対比調和を図る。

④ デザイン



04 実施済み事業のコンセプト (2)東西地下通路

◆再整備コンセプト

① リニューアルコンセプト(機能・整備方針)

◆リニューアルコンセプト

現状の課題を踏まえ、地下の特性を活かし、人々が集い、にぎわいが創出され、安心で快適な空間づくりとして、「つなぐ・むすぶ・ささえる」をコンセプトにリニューアルを目指す。

◆目指す方向性

「まちに人を広げ、人とまちをささえる仕組みと活動の空間づくり」

○駅街区の回遊性の向上

交通結節点としての機能、周辺街区とのつながりを深める。

○地下の特性を活かした空間

地下の環境性能を高めつつ、天井や壁などがある地下特有の条件を活かし、地上部やペDESTリアンデッキにはない場を提供する。

○人にやさしい空間

誰もが安心して使いやすい快適な歩行空間と多様な利用が可能な空間を提供する。

◆整備方針

(1) 通路部

延長約80m、幅員約5mの東西地下通路は、安全で快適に回遊できることを目指し、壁面、天井、歩行面のデザインを検討する。

(2) 広場部

床面積約400㎡の広場部については、通路部と同様に安全性と快適性を高めるとともに、新たな交流やにぎわいの機能を創出できるような空間を目指す。

(3) 広場空間の利活用 (エアーマネジメントの導入)

広場の空間利用については、官民連携したエアーマネジメントの導入を見据え、にぎわいや憩いの場として、多目的な用途で活用できる広場づくりを目指す。

◆デザインコンセプト

(出典)藤沢駅東西地下通路リニューアル計画

② デザインコンセプト

「藤沢の立地や風土」をキーテーマとして作成

大きな水面を南に擁した
湘南・藤沢の風土



「つなぐ」「むすぶ」歴史や文化



③ デザインテーマ



「水面の象形」を風景テーマに

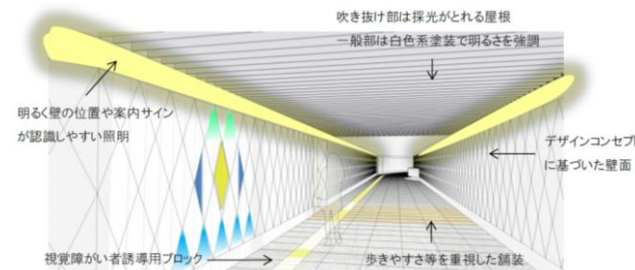
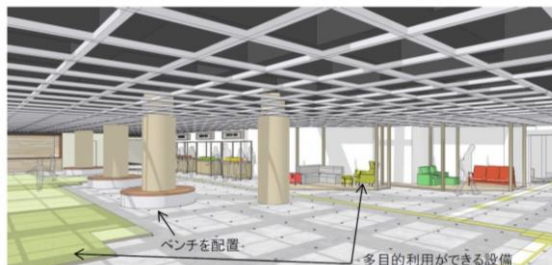
相模湾の大きな水面を表層とする、くりかえし、穏やかに打ち寄せる波。その連続してつながる文様の象形が、藤沢の地下通路のキーテーマになると考えた。

④ デザインイメージ

幾何学的な柄で表現し、地下通路の風景イメージを展開



⑤ デザイン



04 実施済み事業のコンセプト (3)人のにぎわい、空間の使われ方

○北口駅前広場（サンパール広場）



●北口地下広場（東西地下通路）

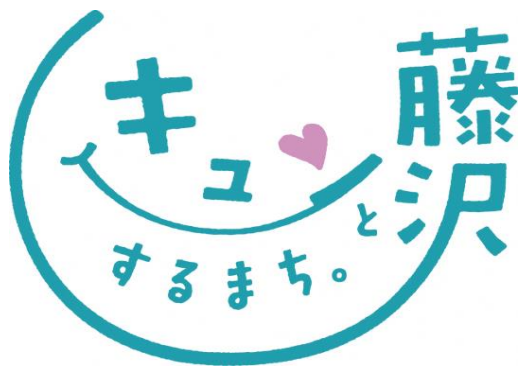


(写真のイベント)

- ①enjoy (ビーズクッション等を配置するくつろぎの空間づくり)
- ②Market251
- ③藤沢ジャズミーティング
- ④インタラクティブ・遊行踊りの投影
- ⑤きたちかマルシェ

(その他のイベント)

- ・キッチンカー・デイズ
- ・SDGsマルシェ
- ・FUJISAWA SPORTS PARK
- ・駅前防災CAMPふじさわ
- ・健康マルシェ
- ・湘南Candle2022藤沢サテライト 等



Ⅲ 湘南・藤沢らしさの整理

- 01 ふじきゅんからみた「藤沢らしさ」
- 02 時間的な位置付け
- 03 湘南・藤沢らしさのイメージ
- 04 藤沢駅前広場の利用者動向
- 05 湘南・藤沢らしさのまとめ



01 ふじきゅんからみた「藤沢らしさ」



ふじきゅん♡

(概要)

【名称】 ふじキュン♡ (本名:藤沢キュン)

【肩書き】 「キュンとするまち。藤沢」公式マスコットキャラクター

【生まれ】 藤沢の波

【チャームポイント】 ヨットの耳

【好きな食べ物】 藤沢で採れる食べ物ぜ〜んぶ

【特技】 藤沢の魅力を伝えること

【能力】 みんなをキュンとさせること

【将来の夢】 藤沢を世界一有名なまちにする

藤沢市民全員と友達になる

【テーマカラー】 ヒスイ色

【性格】 オシャレさん、のんびりやさん、穏やか、明るい

【趣味】 藤沢の散策

【悩みごと】 藤沢の知名度が低いこと

(旅先で「藤沢ってどこ？」と聞かれて残念な思いをした)

02 時間的な位置付け ～藤沢駅周辺街区における「にぎわいエリア」の変遷～

江戸時代～明治時代

○江戸時代、「東海道」、「大山道」「江の島道」、「鎌倉道」、「八王子道」、「厚木道」の街道が集まる藤沢宿は「流通の中心地」であった。当時、江戸や近国の庶民の間では「江の島詣」が広まり「大山詣」との両参りが流行するなど、多くの人を訪れた。



明治時代～昭和時代


○かつて旧東海道の宿場町として栄え、明治以降は東海道本線の開通(1887年)、江ノ電藤沢駅(1902年)、小田急藤沢駅(1929年)の開業に伴い、駅周辺が観光拠点となり、にぎわいを持つエリアへと成長した。



昭和時代～現代

○1960年代から1970年代の南口の土地区画整理事業や北口の市街地再開発事業等により、駅周辺に大型の商業施設が立地し商業が集積したが、その後現在まで駅周辺は大きく姿を変えていない。駅前広場を含めた駅周辺市街地の機能更新が求められている。



 にぎわいエリア

03 湘南・藤沢らしさのイメージ (1)あり方検討会議ワークショップの結果

南口駅前広場の再整備の方向性について 藤沢らしさを感じられる空間づくりの考え方

ワークショップで抽出された藤沢らしさ

< 藤沢の魅力・資源 >

第2回あり方検討会議より

まち全体の印象

- ▶ 平均点を少し上回った生活
- ▶ 古いまちであるが、高級住宅地・別荘地
- ▶ 潮風、明るい、暖かい、柔らかい、優しいといったイメージがある湘南の中心地



マツ並木の続く住宅地



湘南海岸



南口駅前広場

環境・気候

- ▶ 緑が豊かで気候も暖かく住みやすい場所
- ▶ 駅から富士山が見える景色
- ▶ ほっとするような空気感がある
- ▶ 湘南らしいかっこよさ、センスのよさを感じる



地域に大切に守り育てられてきた石川丸山谷戸



高台の善行公園から望む富士山



四季を通じて楽しめる新林公園

観光資源

- ▶ 観光資源が豊かなまち（江ノ電・江の島、花火大会、箱根駅伝、遊行寺、藤沢宿）



湘南・江の島



江ノ電の走る風景



時宗総本山（遊行寺）

広域から見た藤沢駅周辺の位置づけ

- 広域的な交通拠点であること
- 市の玄関口であること
- 交通の利便性と暮らしやすさの両立した魅力的な居住地であること

南北のまちの特徴から見た藤沢駅南口

- 商業が放射状に広がる特徴があり、住宅地がすぐそばにある市民に開かれた場であること
- 江の島へ続く道や鉄道がある観光への入り口であること

ワークショップで抽出された藤沢らしさ

- 自然や気候に恵まれた住宅地でのひと回り上の、ゆとりのある暮らし
- 江の島や湘南といった海辺を中心とした湘南らしい独自の文化やイメージがあること
- 藤沢宿や遊行寺を中心とした歴史的観光資源

→これら要素を感じられるような
藤沢らしい魅力ある空間づくりを目指す

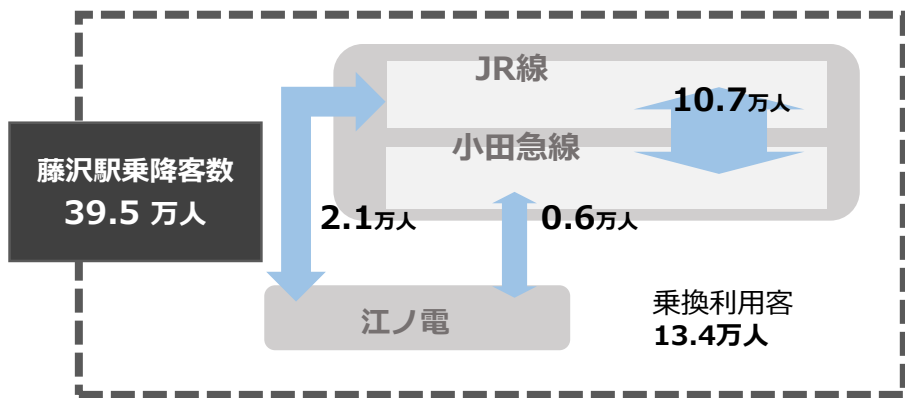
03 湘南・藤沢らしさのイメージ (2)市民アンケート

※H30年度に藤沢駅周辺で実施したアンケート調査結果(約3,000人が回答)

藤沢駅前に抱いている印象 や 好きなおところ	
<p style="text-align: center;">多く出てきた意見</p> <p style="text-align: right;">※出現量が多い回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 田舎と都会のほどよいミックス <ul style="list-style-type: none"> ・ 都会と田舎のほどよくミックスされていてなごみます ・ デパートがあり適度に都会っぽく、緑があって適度に田舎（地方）っぽい ・ ほどよく都会とレトロ下町っぽいところが混在している ▶ 商業施設が便利で日常の買い物しやすい <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅を出ると、専門店の商店があり買物に便利 ・ 洗練されたムードには欠けるが、百貨店での買ものは、便利であり、落ち着く ・ 買物に便利・北口も南口も2階のデッキがあるので車の通行に妨げられず駅や店舗に行けるのが良い ▶ 周辺に飲食店、商業施設が多くあり、おしゃれな店もある <ul style="list-style-type: none"> ・ おしゃれな飲食店が多い／おしゃれなカフェが多い ・ 飲食店も多く、ファストフードだけでなく、レストランや喫茶店も多いところ ・ オリジナリティのある飲食店が多いが喫茶スペースが極端に減った気がする ▶ 緑が多く、鳥もたくさんいる <ul style="list-style-type: none"> ・ デッキの横にある木に大量の小鳥がきている ・ 緑が多く鳥のさえずりが楽しい ・ 駅前（南口）に大きな緑地があり大変印象が良いです ・ 大きなケヤキの木があるところ ・ 南口の大木に大変な数のムクドリが群れています、どうにかありませんか 	<p style="text-align: center;">全体意見</p> <p style="text-align: right;">※回答全体の大きな傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 緑と鳥が多い ▶ 老朽化・古さも目立つ ▶ 狭くて暗くてごちゃごちゃで歩きづらい ▶ 商業施設が多く、おしゃれなお店もある ▶ イベントがあって楽しい（北口） ▶ 買い物や生活用品がそろって便利さと活気がある ▶ 江の島、鎌倉、湘南の入り口の明るい空気と風のまち ▶ 東京から帰ってくるとホッとすると、ほどよい田舎の空気感 <p style="text-align: center;">注目すべき強い意見</p> <p style="text-align: right;">※意見の数は少ないが、結びつきが強い意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 江ノ電、小田急、JRの乗換えができる ▶ 富士山が見えること

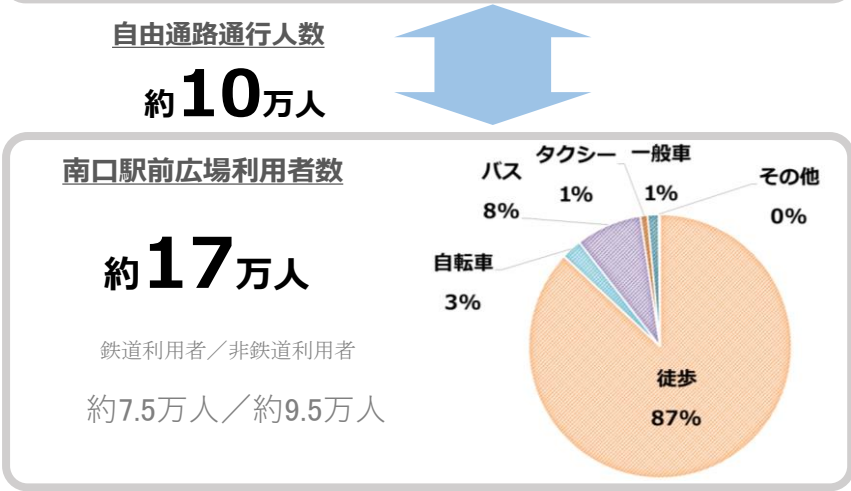
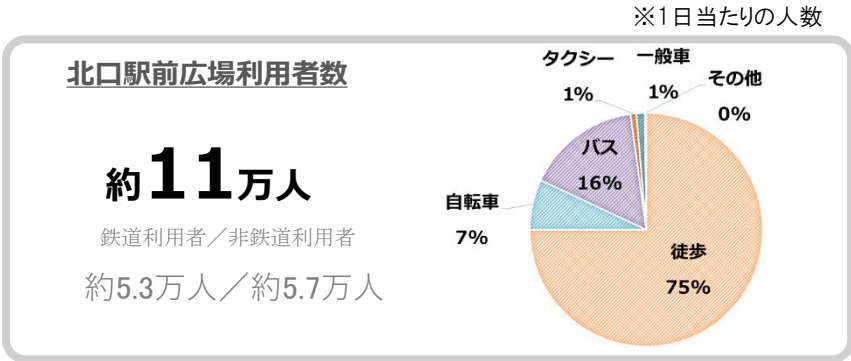
→藤沢駅前の印象や好きなおところとして、「ほどよく田舎」「緑が多い」「日常の買い物に便利」「商業施設が多い」「江の島、鎌倉、湘南の入り口」といった意見があった。
一方、「老朽化」「狭い・暗い・ごちゃごちゃしている」などネガティブな印象を抱いている人も散見された。

04 藤沢駅前広場の利用者動向 ~藤沢駅南口駅前広場再整備基本計画(素案)より引用~



藤沢駅は、JR東海道本線、小田急江ノ島線、江ノ島電鉄線の3線が乗り入れていると共に、バス、タクシーとの交通結節点として、位置付けられています。

鉄道乗降客数は、乗換客も含めると1日約40万人が利用しています。また、北口駅前広場では1日約11万人、南口駅前広場では1日約17万人の人が利用しており、鉄道利用者以外の人も多く利用しています。



※ 各数値は複数の統計データによる推計値
 ※ 乗降客数はH28年大都市交通センサスより推計
 ※ 駅前広場利用者数はH28年大都市交通センサス・H24年実施の実態調査データより推計

05 湘南・藤沢らしさのまとめ

『湘南・藤沢らしさ』は、次にあげる「時間」・「エリア」・「主体」における着目ポイントによって、さまざまな捉え方ができると考えられる。

● 『湘南・藤沢らしさ』を考える際、
「どの時間の特性」に着目するか？

【過去】

門前町や東海道の宿場町として発展した時代

【現在】

鉄道を中心とした恵まれた公共交通によって
観光拠点となり、にぎわいを持つエリアへと
成長した時代

【未来】

次の時代の湘南・藤沢ライフを先導・プロモーションする都心として、
新たな都市づくりを
歩み始める時代



蔵のある街並み(藤沢市都市マスタープラン)

● 『湘南・藤沢らしさ』を考える際、
「どのエリアの特性」に着目するか？

【住宅地】

高級住宅街や別荘地としての歴史をもち、
緑が多く快適な住宅地

【商業地】

藤沢駅を中心とした、にぎわいのある商業地

【観光地】

湘南海岸の自然環境と江の島の歴史環境を
生かした、首都圏のリゾート・レクリエーション
拠点としての観光地



鶴沼の住宅地(藤沢市都市マスタープラン)

● 『湘南・藤沢らしさ』を考える際、
「どの主体の特性」に着目するか？

【居住者】

藤沢市に居住し、通勤や通学、日常の買い物
等で藤沢駅を利用する人

【来訪者】

仕事や観光・レクリエーション等を目的として、
藤沢駅に訪れた人

【事業者】

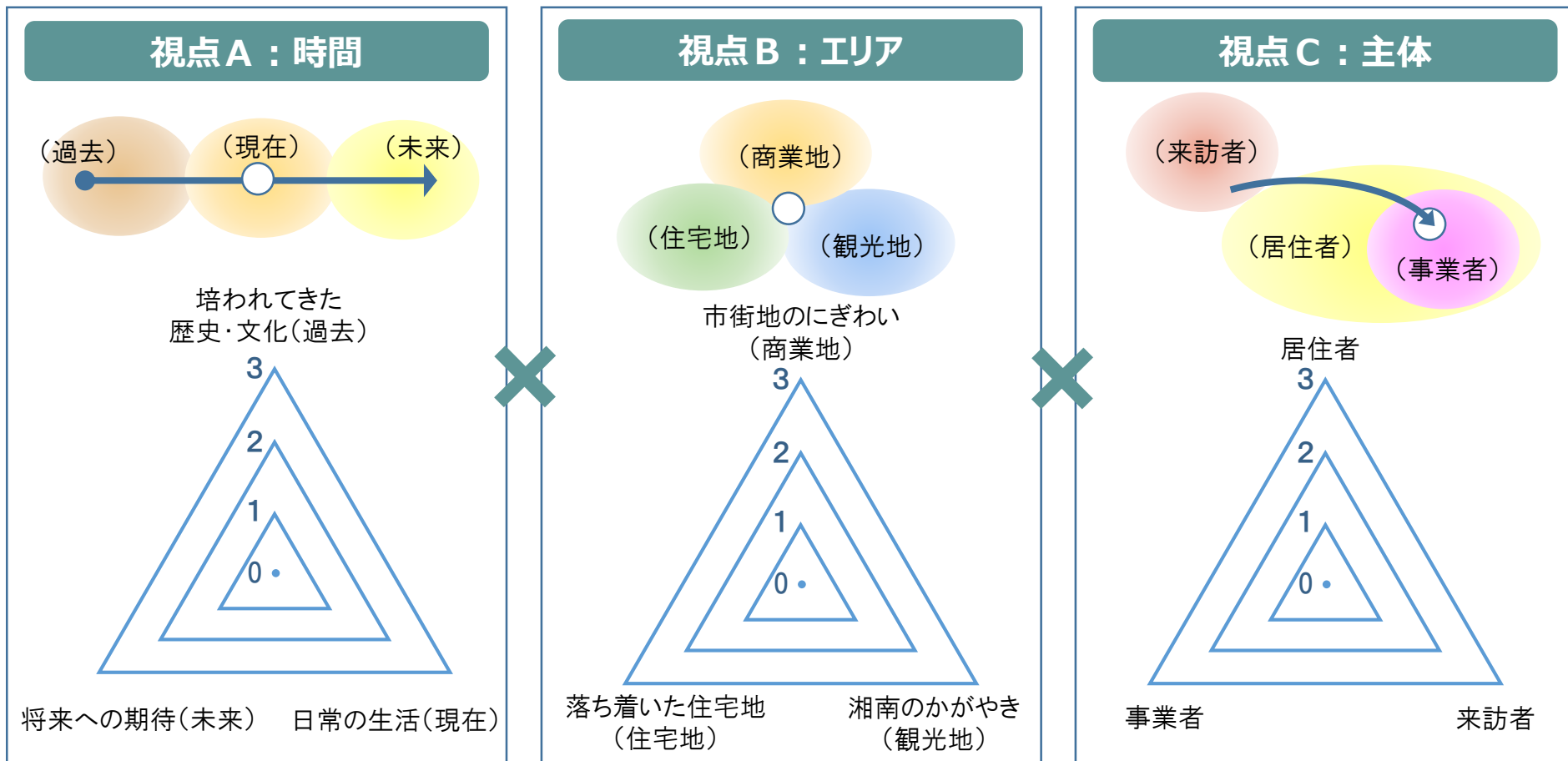
藤沢駅周辺における商業施設等で事業を
行う人



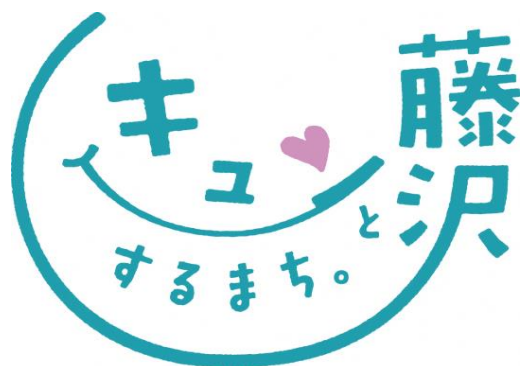
藤沢駅南口の様子

05 湘南・藤沢らしさのまとめ

エリアデザインコンセプト(たたき台)の作成の視点



視点A・B・Cにおいて、どの部分に重きを置くかによって、複数のコンセプト案を作成



IV エリアデザインコンセプト(たたき台)



案① 湘南を感じ「ただいま」と「ってきます」が集まる場所

<p>①イメージ</p>	<p>ノスタルジー(郷愁)が感じられるデザイン</p>
<p>②湘南・藤沢らしさの視点(表現)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>時間</p> <p>培われてきた 歴史・文化(過去)</p> <p>将来への期待(未来) 日常生活(現在)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>エリア</p> <p>市街地のにぎわい (商業地)</p> <p>落ち着いた住宅地 (住宅地) 湘南のかげやき (観光地)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>主体</p> <p>居住者</p> <p>事業者 来訪者</p> </div> </div>
<p>③設定意図</p>	<p>「湘南の玄関口」</p> <ul style="list-style-type: none"> * ベットタウンとしての藤沢、湘南の玄関口としての藤沢、観光地であり、生活圏でもある藤沢には、人が集まってくる。 * その中心地である藤沢駅において、市民はもちろん、街を訪れる人もどこか懐かしさを感じ「ただいま」と言いたくなる。 * 鉄道3線が乗り入れ、交通の要所である藤沢駅は出発点であり、目的地となり、「ってきます」が集まってくる。 <p>「ほどよい田舎の空気感」</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「ただいま」と「ってきます」には、藤沢の暖かみや懐かしさが感じられる。
<p>④デザインの方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 暖かみ、懐かしさが感じられるような、華美でないノスタルジックな空間デザイン * 人をやさしく受け入れる、近親感のあるデザイン
<p>⑤デザイン展開イメージ</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>オレンジ色の広場照明(岩崎電気HP)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>緑に囲まれたカフェの店先(カエルときHP)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>通りへの光が漏れる開放的デザイン (上野建築研究所HP)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>和モダンをイメージした木目調のデザイン (ダイヤモンドチェーンストアオンラインHP)</p> </div> </div>

案② 人とまちが輝く、湘南スタイル

<p>①イメージ</p>	<p>湘南の海を感じるデザイン</p>		
<p>②湘南・藤沢らしさの視点(表現)</p>	<p>時間</p>  <p>将来への期待(未来) 日常生活(現在)</p>	<p>エリア</p>  <p>市街地のにぎわい(商業地) 落ち着いた住宅地(住宅地) 湘南のかげやき(観光地)</p>	<p>主体</p>  <p>事業者 来訪者 居住者</p>
<p>③設定意図</p>	<p>「湘南らしいセンスの良さ」</p> <ul style="list-style-type: none"> *「湘南」の潮風、太陽の日差し、温暖な気候といった自然。 *「湘南」という言葉に感じる、カッコ良さやセンスの良さ。 <p>「湘南・藤沢ライフを先導しプロモーションする」</p> <ul style="list-style-type: none"> *1日40万人が利用する藤沢駅には、藤沢の魅力・生活の良さの発信が求められている。 		
<p>④デザインの方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 気候や季節、時間の変化を五感で感じられる、明るく、開放的な空間デザイン * 軽量感、透光感のある素材を用いて、湘南の海をイメージしたデザイン 		
<p>⑤デザイン展開イメージ</p>	 <p>木デッキを使用したひろば(長崎新聞HP)</p> <p>空の青に生える白を基調色とした建物(湘南村岡不動産HP)</p> <p>光と風を感じる半屋外空間(池上産業HP)</p> <p>膜素材を使ったシェルター(太陽工業HP)</p>		

案③ 歴史と文化をつなぐ湘南藤沢クロスゲート

<p>①イメージ</p>	<p>歴史と文化を継承したデザイン</p>
<p>②湘南・藤沢らしさの視点(表現)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>時間</p> <p>培われてきた歴史・文化(過去) 将来への期待(未来) 日常生活(現在)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>エリア</p> <p>市街地のにぎわい(商業地) 落ち着いた住宅地(住宅地) 湘南のかがやき(観光地)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>主体</p> <p>居住者 事業者 来訪者</p> </div> </div>
<p>③設定意図</p>	<p>「宿場町としての人の集まり、広がり」</p> <ul style="list-style-type: none"> * かつては6街道が集まる宿場町、そして現在は3つの鉄道路線が乗り入れる交通の要所であり、多くの人が集まり、さらに広がっていく。 * 湘南観光の玄関口でもあり、ベッドタウンとしての生活圏でもある藤沢の中心駅は、強い求心力を有している。 <p>「現代における歴史・文化の表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> * これまで培われてきた歴史や文化を明日へつなげていく役割を担う。
<p>④デザインの方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 歴史の重みを感じられる、現代風にアレンジした重厚感あるデザイン * 歴史や文化の歩みを居住者や来訪者にわかりやすく、ビジュアル的に伝えるデザイン
<p>⑤デザイン展開イメージ</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>重厚感ある橋りょうデザイン(写真紀行・旅おりおり)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>石を基調とした落ち着いた外観デザイン(相鉄プレッサインHP)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>歴史文化の展示(横浜駅「記憶の散歩道」)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>歴史資源を継承したデザイン(号外NET 小田原市(県西地域)HP)</p> </div> </div>

案④ みどりが心地よい、自然を感じる空間

<p>①イメージ</p>	<p>豊かな自然環境が感じられるデザイン</p>			
<p>②湘南・藤沢らしさの視点(表現)</p>	<p>時間</p>  <p>将来への期待(未来) 日常の生活(現在)</p>	<p>エリア</p>  <p>落ち着いた住宅地(住宅地) 湘南のかがやき(観光地)</p>	<p>主体</p>  <p>事業者 居住者 来訪者</p>	
<p>③設定意図</p>	<p>「自然や気候に恵まれた環境」</p> <p>* 相模野台地、片瀬・村岡丘陵の起伏に富んだ地形、江の島の海食崖・岩礁といった変化に富んだ地形が生み出す、豊かな自然や温暖な気候に恵まれた環境にある。</p> <p>* これらの自然が生み出す、光と影は自然の象徴である。</p> <p>「ひと回り上のゆとりある暮らし」</p> <p>* それらの自然や気候に恵まれ、かつては別荘地としても栄えたこの地において、ひと回り上のゆとりある暮らしを創出していく。</p>			
<p>④デザインの方向性</p>	<p>* 光と影を効果的に取り入れた空間デザイン</p> <p>* 都市内においても、気候や季節、時間の変化を感じられるよう、自然素材を効果的に用いたデザイン</p>			
<p>⑤デザイン展開イメージ</p>	 <p>緑に囲まれた都市ひろば(武蔵小杉ライフスタイル)</p>	 <p>湘南の水と緑・風を取り込んだデザイン(ダイワハウスHP)</p>	 <p>あたたかみのある土系舗装(ジオサプライHP)</p>	 <p>光と影の空間演出(アオーレ長岡)</p>

案⑤ 次の時代の湘南・藤沢ライフ

<p>①イメージ</p>	<p>未来志向の都市空間</p>
<p>②湘南・藤沢らしさの視点(表現)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>時間</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>エリア</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>主体</p> </div> </div>
<p>③設定意図</p>	<p>「新たなにぎわいや交流の創出」</p> <p>* 憩い、集い、出会いの場として、新たなにぎわい・交流・つながりを創出・発信する場とする。</p> <p>「サステナブルな新しい市民生活の提案」</p> <p>* 都市における環境創造、持続可能なまちづくりをアピール。</p> <p>* 最新技術を駆使した新しい市民生活の提案を行う。</p>
<p>④デザインの方向性</p>	<p>* 新たな技術や環境負荷低減に向けた取組を行う、斬新な空間演出によるデザイン</p> <p>* 華美になりすぎず、人々の行動を阻害しないデザイン</p>
<p>⑤デザイン展開イメージ</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>軽快なデザインの竹芝デッキ (ZACZAC HP)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>デジタルサイネージによる空間演出(榊春光社HP)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>デジタルアートを取り入れた建物外観 (GREEN SEED HP)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>壁面緑化によるアートワーク(大和リースHP)</p> </div> </div>

案⑥ キュンとする駅。

<p>①イメージ</p>	<p>キュンとするまち。藤沢</p>
<p>②湘南・藤沢らしさの視点(表現)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>時間</p> <p>将来への期待(未来) 日常の生活(現在)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>エリア</p> <p>落ち着いた住宅地(住宅地) 湘南のかげやき(観光地)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>主体</p> <p>事業者 居住者 来訪者</p> </div> </div>
<p>③設定意図</p>	<p>「新たな魅力の創出と発見」</p> <p>*ここに来れば、毎日が新しく、魅力的な空間が広がっている。</p> <p>*居住者・事業者・来訪者すべてが主人公【図】となる。</p> <p>「湘南の玄関口」</p> <p>*ヒト、モノ、コトが集まり、出会いのある空間演出。</p>
<p>④デザインの方向性</p>	<p>*気候や季節、時間の変化、人の流れを感じられる空間演出によるデザイン</p> <p>*まちの魅力を創出する舞台【地】としての控えめで、飽きのこないデザイン</p>
<p>⑤デザイン展開イメージ</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>モニュメントが置かれたシンボル広場 (西新宿街ぐるみプロジェクトHP)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>外部から靴工房での作業が見える店舗 (日本自動車連盟HP)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>鉄製看板で統一されたメルヘンチックな街並み (All about公式SNS/ローテンブルク)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>見る／見せることを意識した階段広場 (LIVING田園都市HP)</p> </div> </div>